

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	小川村
----------	-----

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」 に関する事業	ウッドボイラー購入事業
事業費 983,000円 (うち支援金: 570,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林を地域が持続的に管理していくためには、地域の消費者が求める木材を地域で生産し活用する「地消地産」の取組を推進することが必要である。

(2) 本事業の目的

(1) の課題への対応方向について記載)

本村の森林では、森林資源の成熟に反して森林整備、地域資源の利用が遅れている状況で、切捨て間伐材も多く発生している。

村内のエネルギー需要施設へ、新たにウッドボイラーの設備を導入することにより、村の資源を最大限持続的に活用する仕組みを構築して、循環型・低酸素社会の実現に向けて取り組む。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 : 小川村 小根山 (立屋地区)

(2) 対象者 : 施設利用者

(3) 実施方法 : 林業体験交流施設 (林りん館) へウッドボイラーを設置する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度)

平成 30 年度 : にこにこ保育園 キッズハウス等

令和 元年度 : 木製バス停・ベンチ作製

令和 2 年度 : 林りん館 ウッドボイラー購入

令和 3 年度～4 年度 : 小川小学校 裏山ランド整備 木製遊具等

にこにこ保育園 わんぱくの森整備 木製遊具等

②令和 2 年度実績

ウッドボイラー購入 1 台

事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

間伐材利用の推進、癒しの場の提供、森林資源のPR、森林税のPR

(2) 継続性

本村では、C材搬出を促進させるための取組として「おがわ森の恵みプロジェクト」をスタートしており、村内の温浴施設である「小川の湯」に薪ボイラーが設置され熱供給を行っている。本事業により設置される「林りん館」においても、今後の地域資源の利用につながる。

(3) 普及性

林業体験交流施設として、村内外から幅広い世代が利用することから、将来における施設の利用者拡大につなげる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

ウッドボイラーを設置したことにより、施設内に露天風呂を整備することができ、利用者拡大に向けてのPRができる。

(2) 課題

今回は、指定管理者からの提案により事業目標の全体事業計画を変更したが、建物を長期的に維持管理するには、地域住民の理解が必要である。C材の搬出を促進させるため、継続した取組が必要である。

(3) 今後の取組方向 (今後の事業実施見込について記載)

今後は、県産材の有効活用として、保育園及び小学校への木製遊具等の整備をしたい。